

《Japan Tariff Association》

関税 メールプレス

(No. 621) 2021. 4. 30 発行元：日本関税協会 長崎支部

TEL: 095-825-0557

Fax: 095-825-1748

<http://www.kanzei.or.jp/nagasaki/>

長崎港開港 450 周年記念行事



宮脇支部長による郷土先賢紀功碑への献花

毎年4月27日の長崎開港記念日には、諏訪神社に隣接する長崎公園丸馬場の一角にある「郷土先賢紀功碑」の前で先賢顕彰式が開催されています。

今年は、コロナ感染症対策に万全を期し、宮脇商工会議所会頭（関税協会長崎支部長）の開式挨拶、献花に続き、長崎開港450周年を記念しての講話が行われました。

【開港記念日とは】

長崎港にポルトガル貿易船が初めて入港した元亀2年(1571年)を開港の年とし、長崎に初代代官の鍋島飛騨守直茂が、天正16年4月2日（新暦4月27日）に任命された日をもって長崎開港記念日としています。

【郷土先賢紀功碑とは】

1915(大正4)年、長崎に貢献した先賢者を後世に伝えるため建立されたもので、石碑には日本人79名、外国人22名の名が刻まれ、この種の石碑では外国人がまとまって顕彰される例は珍しいとされています。

主な人物は長崎代官の末次平蔵、『長崎夜話草』で知られる天文地理学者の西川如見、諏訪神社を再興した青木賢清など、外国人ではツェンベリー、シーボルトなどオランダ商館医として来日し海外に日本を広く紹介した人々の名前が見られます。

